

船舶事故等調査報告書

平成25年6月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第5号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年12月16日 04時50分ごろ
発生場所	沖縄県うるま市伊計島東方沖 伊計島灯台から真方位152° 1,100m付近 (概位 北緯26° 23.4′ 東経128° 00.1′)
事故等調査の経過	平成25年1月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 あき丸、7.9トン
船舶番号、船舶所有者等	ON2-0802（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	軽傷 1人（船長）
損傷	船底部擦過傷、舵板曲損及び舵頭材損傷
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、漁場移動のために伊計島東方沖を約6ノットの対地速力で自動操舵によって北西進中、船長が、操舵室の椅子に腰を掛けた状態で見張りを行っていたところ、居眠りに陥り、平成24年12月16日04時50分ごろ伊計島東方沖のさんご礁に乗り揚げた。 船長は、無線で救助を要請し、来援した僚船によって救助された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 3 海象：波高 約2m、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	本船は、平成24年12月7日に沖縄県名護市汀間漁港を出港し、そでいか漁業を行っていた。 船長は、本事故発生場所付近を航行するのは初めてであった。 船長は、本事故当時、レーダーを作動させていたが、接近警報をセットしていなかった。 本船は、平成25年1月16日にサルベージ船によって引き出されたが、磯波による損傷が激しく、上架後、解撤された。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、伊計島東方沖を自動操舵で北西進中、船長が居眠りに陥ったことから、同島沖のさんご礁に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、伊計島東方沖を自動操舵で北西進中、船

	長が居眠りに陥ったため、同島沖のさんご礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船橋当直中に眠気を催した場合には、椅子から立って身体を動かすなどして眠気の払拭に努めること。</li><li>・ レーダーの接近警報を活用すること。</li></ul>